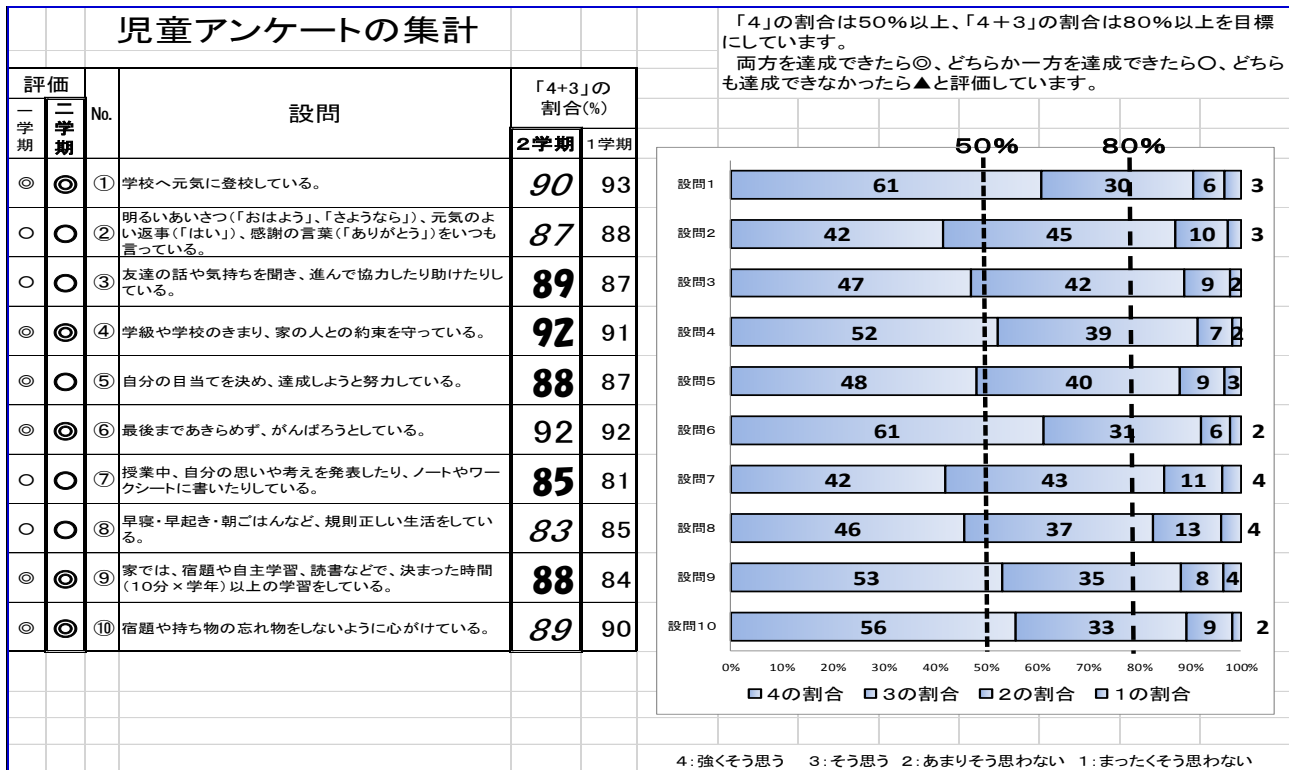


平成30年度学校評価（年度末評価）の結果から

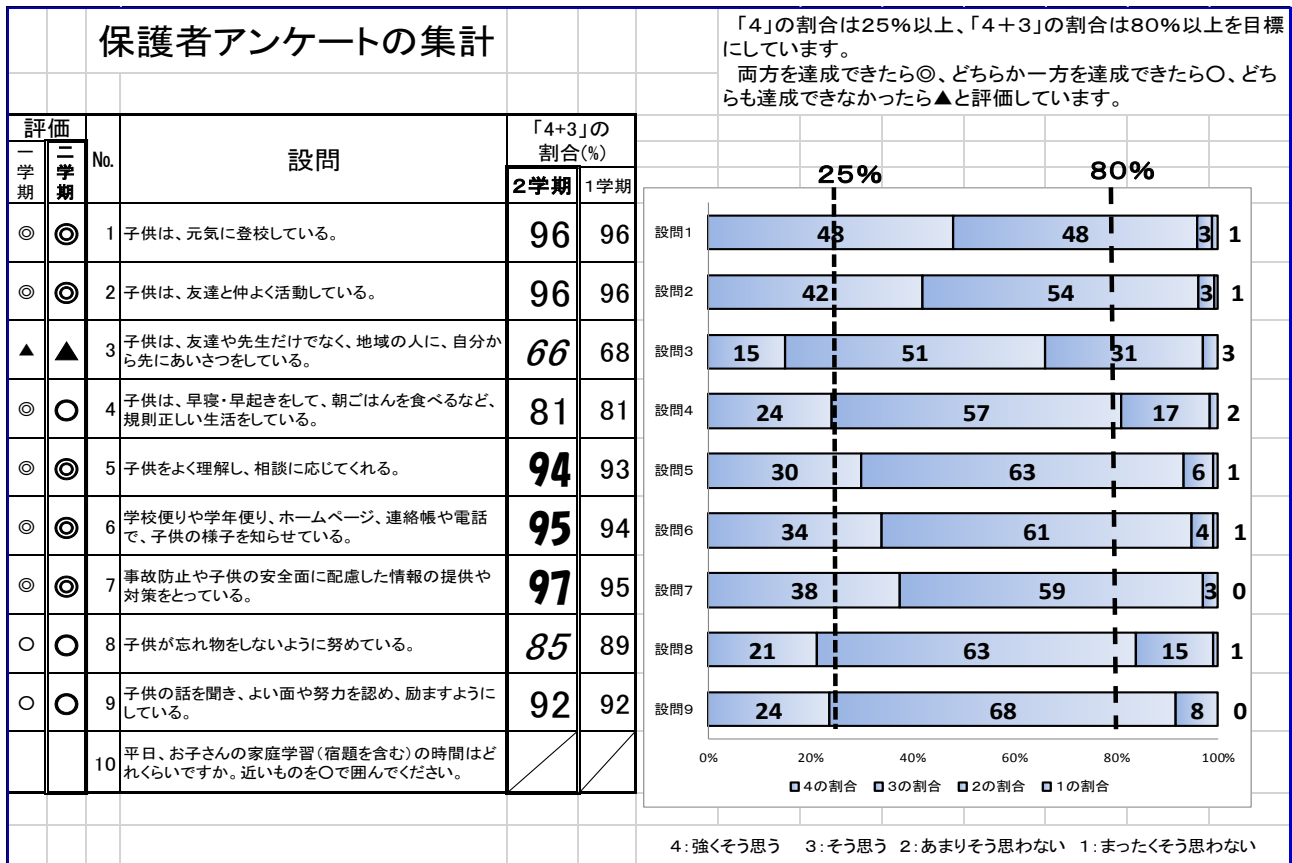
2学期末の「学校評価」にご協力いただき、ありがとうございました。1学期末の中間評価の結果と比較・分析した上で、今後の教育活動に生かし、子供たち一人一人が活動に意欲的に取り組み、充実感や成就感を味わえるよう、全教職員で支援・指導をしていきたいと思ひます。今後ともよろしくお祈ひします。



保護者・児童アンケートの結果から

児童アンケートについては、②、③、⑤、⑦、⑧の質問において「4」の割合が50%に達していません。②の「あいさつ」については、数字では余り変化がないように思われますが、その内容は、児童会の取組の成果もあり、「相手の目を見て」「相手の名前を呼んで」挨拶できる子が増えるなど、質的な高まりが見られたことをお伝えしておきます。また、⑨の結果から、家庭学習がんばり週間等の取組の成果が徐々に現れてきていることも伺えます。一方、①の割合が下がっていることが気になります。次の学年に繋ぐために、また、6年生は中学校生活に繋ぐために、3学期が充実したものとなるように努めていきたいと思ひます。

保護者アンケートについては、9項目の内6項目で「4+3」の割合が90%を超えている点においては、前回と同様の結果でした。中でも、⑥、⑦は95%を超える評価をいただいております。大変ありがたいことだと感じております。⑧については、発達段階や学年に応じて、各家庭でもお子さんへの対応を工夫されていることと思ひます。高学年になれば、手をかけすぎるのは、かえって自立を妨げることにもなるでしょう。そんなときは、大人が一方的にルールを押し付けるのではなく、お子さんと話し合われ、お子さん自身が考えた解決策を実行していきけるように励まし、見守り続けることが得策の一つであるとも言えるかもしれません。



家庭学習の時間	目標(10分×学年)達成率						
	第1学年	第2学年	第3学年	第4学年	第5学年	第6学年	全体
2学期末評価	100%	89%	80%	76%	67%	64%	79%
1学期末評価	100%	88%	80%	61%	65%	53%	74%



2学期末の評価を終えて

保護者の皆様には、1学期末と2学期末の2回、学校評価にご協力をいただきました。お忙しいにもかかわらず、ご協力いただきましたことに対し、改めて御礼申し上げます。

子供を評価し、保護者の方に通知表をお渡しする立場としましては、この2回の調査は、保護者の皆様と子供たちから学校への通知表だと私は捉えています。自由記述には、感謝のお言葉を頂戴する内容もありますし、厳しいご指摘、ご助言をいただく内容もあります。いずれのご意見も、私たちにとりまして、保護者の皆様の偽らざる胸の内を知る貴重な機会であると認識しております。感謝のお気持ちは有り難く頂戴し、厳しいご指摘、ご批判は真摯に受け止め、改善が必要なことについては誠実に対応して参りたいと考えております。

ただ、「気を付けたい」「保護者の方と共に考えたい」と、日ごろ思っておりますのは、教員が保護者に、また、保護者が教員に、一方的に寄りかかる関係は望ましくないということです。

「子供がよくなればいい」「健全に育ててほしい」という保護者の皆様と我々の思いが同じであることに違いはありません。一人一人のお子さんの成長のために、保護者の皆様とは、共に手を携え、同じ方向を向いて子供たちに関わっていける関係でありたいと願っています。

(文責 教務主任 前田 正浩)